

私立大学図書館協会

2023 年度第 3 回 国際図書館協力委員会議事要録 (zoom 会議)

日 時：2023 年 6 月 14 日 (水) 15:00~16:10

出席者：須賀 真弓 (法政大学)、関口 素子 (慶應義塾大学)、川北 友美 (帝京大学)、
濱生 快彦 (関西大学)、関谷 常德 (愛知学院大学)、高木 秀明 (中部大学)

陪 席：鈴木 直子 (明治学院大学・会長校)、有川 博隆 (法政大学・事務局)

【報告事項】

- 1 2023 年度第 2 回国際図書館協力委員会議事録 (報告資料 1)
委員長より 2023 年度第 2 回国際図書館協力委員会議事録について、資料に基づき報告があった。
- 2 2023 年度寄贈資料搬送事業について (報告資料 2)
委員長より 2023 年度寄贈資料搬送事業について、資料に基づき説明があった。第 1 回締切 (5 月 31 日) では申請者がいなかったとのこと、報告があった。
- 3 トルコからの図書寄贈依頼について (報告資料 3)
委員長よりトルコからの図書寄贈依頼について、本委員会からの何らかの回答はしないことを日本図書館協会へ伝え、了解を得たことを報告した。

【審議事項】

- 1 2023 年度 国際図書館協力セミナー及び海外認定研修について (審議資料 1)
 - (1) 海外認定研修について
 - ・委員長より資料に基づき説明があり 2023 年度の海外認定研修について丸善雄松堂株式会社 (以下、丸善 (株。)) より提案のあった次の内容 (訪問先、日時、金額等) で募集をすることを決定した。
日程：2023 年 12 月 6 日~9 日、訪問先：台湾 (台北)、参加費：240,000 円
参加費の助成の金額の審議等進め方は、委員長が確認し、改めて委員に連絡することになった。
 - ・前回委員会で質問のあった、研修先の選定理由について確認したところ、円安や物価高の影響を考慮し、旅費を抑えられそうな台湾を選定された。台湾ではオープン前の鉄道博物館を見学できる貴重な機会がある。参加費は当初は円安等の影響で 55 万円という設定であったが、24 万円に変更になり確定した。
 - (2) 国際図書館協力セミナーについて
委員長より資料に基づき、前回の委員会での意見 (国やテーマ) をもとに丸善 (株) から提案のあった内容を共有し意見が交わされた。なお、丸善 (株) へは委員長より、日本と時差のないオセアニアやアジアのエリアであること及び、終了時間を 17:30 から 17:00 へ変更を希望していることを伝えた。
 - a 講師校について
学生支援と先端的なサービスに力を入れている図書館を講師校候補として選定するため、委員長より各図書館の特徴を説明された。丸善 (株) から第三希望程度の決定を依頼されているが、順位付けは難しいので以下の大学 (オセアニアの大学と韓国を 1 校ずつ) を希望と回答することになった。
 - ・学生支援の特徴的な取り組みをしている大学図書館
シドニー大学図書館 (オーストラリア)、西オーストラリア大学図書館 (オーストラリア)、オークランド大学図書館 (ニュージーランド)
 - ・先端的なサービスに力を入れている大学図書館
高麗大学校図書館 (韓国)
- なお、上記の講師校を決める際には、各委員からは以下の意見があがった。

- ・私立大学図書館協会は私立大学の集まりのため、私立大学の高麗大学校図書館（韓国）が良い。
- ・学生支援の特徴的な取り組みをしている大学図書館では、E-Learning を拡張している西オーストラリア大学図書館（オーストラリア）が良い。また、電子書籍の数が多いため活用方法を聞きたい。先進的なサービスに力を入れている大学図書館では、ロードマップをもとにプロジェクトを進めているデルフト工科大学図書館（オランダ）やディーキン大学（オーストラリア）が良い。
- ・異なる国からオンラインで実施できるのであれば、講師校を違う国にした方が面白い。
- ・ニュージーランドの大学は就職がしやすいと紹介されているため、図書館と就職の関係に興味がある。
- ・高レベルな大学の高麗大学校図書館（韓国）が良い。また、博士の数も知りたい。

b 実施日時について

実施日については、丸善（株）より提案された12月19日～21日で決定した。あわせて終了時間を17:00より前に設定するよう求めることとした。

c その他

委員より、通訳を使うと実施時間が通常の2倍になってしまうという懸念の意見があり、あわせて丸善（株）へ伝えることになった。

* 委員会終了後、委員長が同時通訳で通訳時間は要しないということを業者より確認した。

以 上